

中小企業・地域経済

デジタルノギス、IoT管理

アイテックとウイング 年内に省人化システム

を要えられる。デジタルコンベックスのデータ抽出も可能だ。開発に伴い、両社は

【新潟】アイテック（新潟県村上市、小山英哲社長、0254・53・6200）とウイング（新潟市中央区、樋山証一社長、025・2467051）は、測定器具「デジタルノギス」で測ったデータを、IoT（モノのインターネット）でパソコンに取り込むシステムを開発した。人の手を介さないため、手書きによる転記ミスを抑え、品質管理の簡便化や省人化に寄与する。人材不足に悩む製造業向けに訴求したい考えで、年内にも実用化する方針だ。

導入システム・機器

デジタルノギス パソコン エクセルファイルなど

- ① デジタルノギスに専用発信機を付ける
- ② 専用ソフトを入れたパソコンに受信機を付ける
- ③ ノギスで測ったデータが取り込まれ、エクセルファイルなどに表示

新潟県の補助金を受けた。航空機内装部品を製造するアイテックはこれまで品質記録を作成する際、人手作業が多く、記載ミスなどが起きていた。工場ではデジタルノギスが多用されており、ソフトウェア開発を手がけるウイングがIoTで

の管理を提案。開発後、アイテックでの実証実験で品質記録作成工数は開発前から6・9%減り、記入漏れもなくなった。今後は、品質保証のトレーサビリティ（追跡可能性）に関する機能の付与も進めていく考えだ。

最優秀賞に宮坂・笹

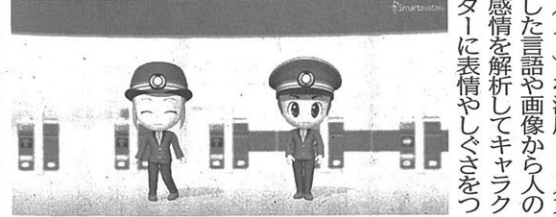
長野県溶接技術コンク

【長野】長野県溶接技術コンクール（長野県共協会（長野市、横山正 催、日刊工業新聞社）の理事長兼横山酸業店）の後援の表彰式を長野市、0266・2288 野上工業技術総合センター（長野市）で行った。最優秀賞は「被覆



BOND（北九州市小倉北区、古川ひろ美社長、093・561・5521）の簡易入力型動画作成ツール「スマートアバター」写真」が人気だ。企業の情報発信番組や訪日外国人（インバウンド）向け案内などで採用が進む。

インバウンド案内採用増



（AI）を活用し、入力する。演出も自動。47カ国語の多言語翻訳機に感情を解析してキャラクターに表情やしぐさをつたい言葉を入力するだけでキャラクターが代読してくれる。外国人に限らず、高齢者や障害がある人でも自身の代理人となるキャラクターを使って自由にコミュニケーションできるのが特徴だ。古川社長は「団体、個人を問わず情報を発信するさまざまな場面で利用してほしい」と、キャラクターの思いを代弁。（北九州）

バリ取り装置小型化

三光産業、コスト大幅削減

【川越】三光産業 美社長、049・29（埼玉真越生町、堀武 2・3332）は、省スペースで低コストのバリ取り装置「コンバクトバートル」写真

キズを付けないブラシも開発。そうした特性も訴求し、年間50台の販売を目指す。細長いサンドペーパーを毛にしたブラシを回転させ、部材のバリを落とす仕組み。ブラ

とで重心が安定し、装着した瞬間、ヤスリより多い競合品に比べて、ブラシが部材に当たると自動的に磨き効果が生まれる（池田正板を薄くできた上、素材のムラを徹底して省いたこと、さらには高価な集塵機を内製化したことでコストを大幅に削減した。これにより「部材の表面にヘアラインとい

より多い競合品に比べて、ブラシが部材に当たると自動的に磨き効果が生まれる（池田正板を薄くできた上、素材のムラを徹底して省いたこと、さらには高価な集塵機を内製化したことでコストを大幅に削減した。これにより「部材の表面にヘアラインとい

